ときめきは表情にあらわれるか

○設楽茉莉絵¹・河島三幸²・阿部恒之¹

(¹東北大学大学院文学研究科・²株式会社カネボウ化粧品メイクアップ研究所)

キーワード: ときめき・表情・魅力

Can TOKIMEKI expression be distinguished from not TOKIMEKI expression?

Marie SHITARA¹, Misaki KAWASHIMA², and Tsuneyuki ABE¹

(¹Graduate School of Arts and Letters, Tohoku Univ., ²Kanebo Cosmetics Inc.)

Key words: TOKIMEKI, expression, attractiveness

目 的

「ときめき」は、異性に接した時などに胸がドキドキすることをさす言葉として、千年以上前の文学作品で用いられている。今日においても多用され、心臓活動の促進の自覚とポジティブな方向への気分の変化を特徴とする感情用語であることが示されている(長崎・河島・野村・阿部, 2009)。一方、日常生活では「ときめくときれいになる」と言われているが、他者から明確に区別される表情を伴うかは明らかでない。

そこで本研究では、ときめきという心理現象を理解する研究の一環として、ときめき喚起時の表情を他者が検出できるかどうかに注目した実験を行った。

方 法

参加者: 首都圏在住の男性 25 名, 女性 25 名の計 50 名。平均年齢は 22.2 歳 (SD=1.2)。

<魅力評定>

刺激: 13 名の女性(以下, モデル: 平均年齢 20.0 歳)に, 2 種の男性芸能人のビデオ(ときめき喚起ビデオ/ときめき非喚起ビデオ)を呈示し, それぞれを視聴しているモデルの表情変化を動画で撮影した。ときめき喚起操作の成否及び予備実験より 3 名のモデルを選定した後, 以下の 2 場面のモデルの表情の静止画を作成した。

①ときめき報告最多場面: ときめき喚起ビデオ視聴時ににおいて, 全モデルの報告を通じて「ときめいた」との報告が最も多かった場面の表情(以下, この条件を最多ときめきとする)。非ときめきビデオ視聴時についても, これと同一タイミングの表情の静止画を作成した(以下, 最多非ときめき)。

②各自ときめき報告場面: ときめき喚起ビデオ視聴時ににおいて, 各モデルが「最もときめいた」と自己申告した場面の表情(以下, 各自ときめき)。ときめき非喚起ビデオについては, これと同一タイミングの表情(以下, 各自非ときめき)。

次に, 各モデルの静止画 4 枚(最多ときめき~各自非ときめき)から左右の配置を考慮して静止画対を作成し, 全部で 36 セット(4P₂×3 名)の刺激を作成した。

手続き: 刺激を 1 セットずつコンピューターディスプレイ上に呈示し, どちらの顔が魅力的か, 一対比較で判断を求めた。呈示順序についてはカウンターバランスをとった。

<印象評定>

刺激: 魅力評定に用いた静止画刺激の前後 2.5 秒(計 5 秒)の動画を刺激とした。各モデル 4 箇所, 3 名計 12 箇所。

評定項目: 「全くあてはまらない」を 0, 「とてもよくあてはまる」を 5 とする 6 件法で 17 項目の評定を求めた。

手続き: 刺激を 1 つずつ呈示し, 刺激ごとに評定を求めた。呈示順序はカウンターバランスをとった。

結 果

分析にはモデル 3 名分の評定を平均したデータを用いた。

<魅力評定>

サーストンのケース V の方法に従って尺度値を算出し, 図 1 に示した。ときめき時の表情は非ときめき時と比較して魅力が高く評価されていた。

<印象評定>

ときめき報告最多場面の結果を図 2 に, 各自ときめき報告場面の結果を図 3 に示した。それぞれの評定項目について, ときめきと非ときめきの条件間で対応のある *t* 検定を行ったところ, 最多場面 (*ts*(49)>3.24), 各自報告場面 (*ts*(49)>5.21) ともに全ての項目で有意な差があった (*ps*<.01)。

図 1 魅力評定の尺度値

図 2 ときめき報告最多場面の印象

図 3 各自ときめき報告場面の印象

考 察

ときめいている表情はそうでない表情と比較した際に明確に区別され, 魅力的であることが確認された。そして, ときめいている表情の印象はそうでない表情と比較して, 「表情が明るい」「優しい」などの肯定的な項目の評定は高く, 「クールな」「近寄りがたい」については低かった。

以上の結果から, 他者から見て, ときめいている表情は魅力的であり, 肯定的な印象をもたらすことが明らかとなった。

引用文献

長崎芙美他(2009). 日本心理学会第 73 回大会発表論文集, 535.